

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895  
FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

能力点検をマメに行なう 鎌田 浩毅 (京都大学大学院教授)

1. 「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」という有名な書き出しで始まる福澤諭吉の「学問のすすめ」は、明治時代に 22 万部という驚異的な部数を刊行したベストセラーだ。人口比で現代に換算すると 80 万部を超える自己啓発本の元祖でもある。諭吉は、人の価値は生まれながらのものではなく、学問を習得した度合によって決まると説く。全編を通して学力ある人の尊厳が熱く語られる。人間を身分や家柄でなく実力で判断する業績第一主義である。
2. 諭吉の言う学問とは「実学」のことである。和歌や王朝文学など特権階級が享受してきた学問ではなく、庶民が生きていくうえで必要な、時代に即したものである。読み書き算盤に始まり、地理学、究理学 (物理学)、経済学が含まれ、これらを西洋の翻訳書から学べと説いた。米国やヨーロッパをじかに見てきた諭吉にとって、西洋世界で研究されている諸学問はすべて実学なのである。
3. こうした実学を身に付ければ、変転する世界にも対応できると諭吉は考えた。ここで大切なことは、「棚卸し」すなわち点検のし直しである。商品の「棚卸し」を定期的に行うのと同様に、自分自身が持っている能力の点検も怠るなという意味である。能力点検をマメに行い、今すべき仕事をきちんと特定せよ、という助言である。「論語」でいる「下学上達」(現在のポストでよい仕事をこなし、いずれ上位に達する) の姿である。  
(参考: 「週刊東洋経済」2009 年 11 月 28 日号)

## ワンポイント経営アドバイス

本業以外はアウトソーシング (P. F. ドラッカー)

1. サービス労働はすべてアウトソーシングされるようになる。このことは時に、建物の保守管理をはじめとする支援的業務や、かなりの種類の事務的業務について起こる、アウトソーシングの流れは止まらない。サービス労働の重要度が高まり、創造性と生産性が求められるからである。特に、トップマネジメントへの昇進が事実上不可能になっている領域でアウトソーシングが必然となる。
2. 病院の価値体系は、医療の価値体系である。医師と看護師の世界である。彼らは、治療を中心に捉える。大学の価値体系は、真理の提案と学生の教育である。それは、教授たちの世界である。したがって、建物の保守管理、支援的な業務、事務的な業務は、たとえ病院や大学の全コストの半分を占めていたとしても、大きな注意は払われない。もちろん、ポスト資本主義社会の組織は本業に集中する。本業以外の仕事は、多様な業務関係のもとに他の組織とはコラボレーションする。

(参考: 「週刊ダイヤモンド」: 2009 年 12 月 12 日号)

## 海外事情

アジアで最も人気のある進出先 (インド)

1. インド経済は「離陸」、すなわち急速な経済成長を実現する初期段階にあるようだ。日本では、中国の経済指標に関してはメディアの関心も高く、中国経済が活況を呈していることは広く認識されている。一方、インド経済も好調であることは、中国ほどには評価されていないようだ。
2. 最近の調査では、日本企業が向こう 2 年間に事業拡大する際、アジアで現在最も人気のある進出先はインドである。インドでの事業機会を挙げるならば、人口が約 11 億人、その半数が 25 歳未満であること、世界中の企業がコスト削減に努める中、世界最大の業務処理及び知識処理のアウトソーシング先としての役割が成功を収める可能性があること、耕作可能な広大な土地が未整備のまま放置されており、農業セクターの投資拡大余地が大きいことなどである。(参考: 「野村週報」2010 年 2 月 1 日号)

## 古典に学ぶ

自修の人

「とにかく人間は、“自己を築くのは自己以外にない”ということ、改めて深く覚悟しなければならぬと思います。すなわち、われわれの日々の生活は、この“自分”という、一生に唯一つの彫刻を刻みつつあるのだということ、忘れないことが何より大切です」  
(参考: 森信三「修身教授録抄」: 報知出版社)